

## 令和7年度 第12回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和8年3月25日（水）13時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・令和7年度は本村にとって脱炭素の取り組みが大きく動いた一年であったと感じており、委員の皆さまをはじめ、多くの関係者のご理解とご協力により、各事業を概ね計画通りに推進することができたことに心より感謝申し上げます。
- ・中部電力や環境省との調整など難しい局面もあったが、2月上旬の環境省中間評価ヒアリングにおいては、「この規模としては順調に進んでいる」との評価をいただくことができた。
- ・PPA事業は（株）いくさかてらすによる民間との契約も順調に進み、施工の方も平林建設の方で円滑に進めていただいている。今年度の契約数も153件まで伸びてきたところで、着実に成果が現れている。
- ・小水力発電、マイクログリッドの構築といった大規模事業も進行しており、これらは本村の将来にとって非常に重要な基盤となるものであり、しっかりと令和8年度も引き続き取り組んでいきたい。予算の方は令和8年度も3年連続で当初予算は過去最大規模となった。大きな事業を着実に進めるためには、村民の皆さまのご理解とご協力が不可欠であり、引き続き本会議において十分にご検討とご協議をお願い申し上げますとともに、令和8年度の事業推進に向けて、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

### 【協議事項】

#### ○令和7年度 脱炭素事業の実績について

再生可能エネルギー導入と省エネ推進に関する多様な事業の進捗状況と計画について説明。

主な内容

- ・太陽光発電・蓄電池の導入
- ・デマンドレスポンス需給管理システム

- ・省エネ機器導入補助（特に空調機器が増加）
- ・木質バイオマスストーブ導入補助
- ・公共施設の省エネ改修（やまなみ荘・保育園）
- ・民家断熱改修補助
- ・EV 充放電設備を 3 か所に設置
- ・公用車の EV カーシェアリング
- ・やまなみ荘チップボイラー接続工事
- ・小水力発電事業（村の電力需要約 18%に相当する電力供給を想定）
- ・マイクログリッド構築の推進
- ・村営 ZEH 住宅建築
- ・事務局運営サポート

## ○令和 8 年度 脱炭素事業の予定について

令和 8 年度に生坂村が予定している脱炭素事業の概要について説明。

### 主な内容

- ・省エネ機器等導入補助事業
- ・公共施設 LED 照明・省エネ機器導入事業
- ・木質バイオマスストーブ導入補助事業
- ・既存住宅・古民家断熱改修補助事業
- ・村営 ZEH 住宅の建設
- ・EV 関連事業
- ・自営線マイクログリッド構築
- ・生坂ダム小水力発電
- ・デマンドレスポンス
- ・効果促進事業
- ・オンサイト P P A、オフサイト P P A 事業

また、地域の森林資源を活用し伐採材をバイオマス燃料として活用するなど、資源循環の取り組みも進める予定。

- ・木質バイオマス材料調達の難易度について、業者の見解では調達はそれほど困難でないとされているようで、雲根地区の枯れたアカマツ林を活用する事業により作業道路を整備し伐採作業を実施しているなかで、伐採材の一部を

リサイクルセンターへ運搬し、やまなみ荘の木質バイオマスチップとして利用促進を行って頂きたいという意見があった。

- ・地域木材資源の循環とやまなみ荘の木質ボイラーの安定稼働を積極的に広報して頂きたいという意見があった。
- ・林業コンサルタント協会の成果を基に来年度の伐採計画を具体化し、見えるところから伐採する方針に沿い、山仕事創造舎と詳細計画を検討して欲しいという意見があった。

## ○広報計画について

広報活動の概要と課題について以下のとおり説明。

- ・広報誌「龍と子」の定期発行やホームページ、SNS を活用し、事業内容や意義を伝える努力を続けているが、情報発信の範囲や頻度、内容の充実に課題がある。
- ・ポスターや広報パネルを村内外に掲示し、観光客や村民に脱炭素のイメージを浸透させる取り組みも行っているが、観光情報と脱炭素情報のバランスや理解促進に課題が残る。
- ・EV バスや蓄電池、木質バイオマスストーブなどの具体的な設備や事業の特徴をポスターやチラシで紹介し、環境意識の向上を図っている。
- ・村関係のイベントや動画、ボードゲームを通じて、脱炭素事業の理解と関心を深める活動も展開しているが、動画 PR や教育連携の強化が必要とされている。
- ・村ではこれまで脱炭素社会の実現に向けて先進的な取り組みを進めてきたが、その内容や意義が十分に全国へ伝わっているとは言えず、発信力の強化が大きな課題となっている。従来の広報手法だけでは、この壁を乗り越えることは容易ではない。そこで新たな挑戦として「書籍による情報発信」に取り組んでいきたいという意見があり、協議の結果取り組んでいく事になった。

## ○その他

- ・龍と子 Vol 27 の内容について説明。
- ・生坂村地方公共団体実行計画の進捗状況公表に必要な数値の入力を各課に依頼。

## 【意見・質問】

- ・ 本村で導入した中型 EV バスに複数の不具合が発生しているため、その原因の把握と対応を進める事と、一方で長野県内の他地域では、同様に中型 EV バスを導入しているものの、大きな不具合は報告されていないとの情報もあり、その点も調査する必要があるという意見があった。